

地域包括ケア「見える化」システム研修会 (入門編)

- Step 2 -

公立大学法人埼玉県立大学
吉田 俊之

自己紹介

●所属

埼玉県立大学 地域連携センター 教授

●委員等

厚生労働省 社会保障審議会福祉部会 委員

●研究テーマ

地域包括ケア、ヘルスケアポリシー、ヘルスケアマネジメント、社会保障

●主な研究調査、支援

(これまで)

- 介護分野の生産性向上ガイドライン等の策定、事業者への業務改善の伴走支援
- 介護分野の介護ロボット・ICT導入、導入と使いこなしの伴走支援
- 介護保険事業計画支援、介護報酬改定影響調査
- その他、文書量削減、保育部門の業務改善活動 ほか

(最近のテーマ)

- 計画策定に関する自治体支援
- リエイブルメント
- 社会福祉連携推進法人／協働・連携
- 在宅医療介護連携
- 障害者向け支援機器の開発に関する人材育成プログラム
- Co-production

研修のねらい

- ① 見える化システムの基本的な操作の習得
- ② 見える化システムを使ったグラフの描画の習得
- ③ データの基本的な読み解きの習得
- ④ データを使って事業や取り組みを育てる考え方の習得

到達目標 (初級編)

- 見える化システムを使う抵抗感がなくなる。
- 基本的な操作をスムーズに行えるようになる。
- 1つの指標を使ったグラフが示す意味を読み解けるようになる。
- 2つの指標を組み合わせたグラフが示す意味を読み解けるようになる。
- データ結果と事業の状況を結びつけて考えることができるようになる。

研修の構成 (初級編)

ステップ	日にち	テーマ
1	7/24	操作方法
2	8/7 (本日)	簡単なグラフをつくる ー 1つの指標の読み解きー
3	8/21	少しステップアップしたグラフをつくる ー 2つの指標の組み合わせー
4	9/4	「見える化」システムの日々の事業への活用

あなたにとってより良い研修となるために

- 目的は基礎的な操作スキルの習得です。そのため、講義的な時間よりも、皆さんと私が同時に見える化システムを操作する時間に研修時間を多く割り当てます。
- できるかぎり、画面をオンにして参加ください。
- 機能や操作を直感的に理解できるように、個別の自治体を取り上げています。特別な意味はありません。
- 発言や質問などのグループ全体への貢献を歓迎します。

スケジュール (2日目)

セッション	日にち	テーマ
1	13:30-13:32 (02分)	事務連絡／あいさつ
2	13:32-13:35 (03分)	アイスブレイク：前回の振り返り
3	13:35-13:50 (15分)	1つの指標：わたしの自治体を振り返る
4	13:50-14:10 (20分)	チャレンジ（10分）／シェア（10分）
5	14:10-14:25 (15分)	1つの指標：わたしの自治体の位置を知る
6	14:25-14:45 (20分)	チャレンジ（10分）／シェア（10分）
7	14:45-15:00 (15分)	振り返り／質問・感想コーナー／事務連絡

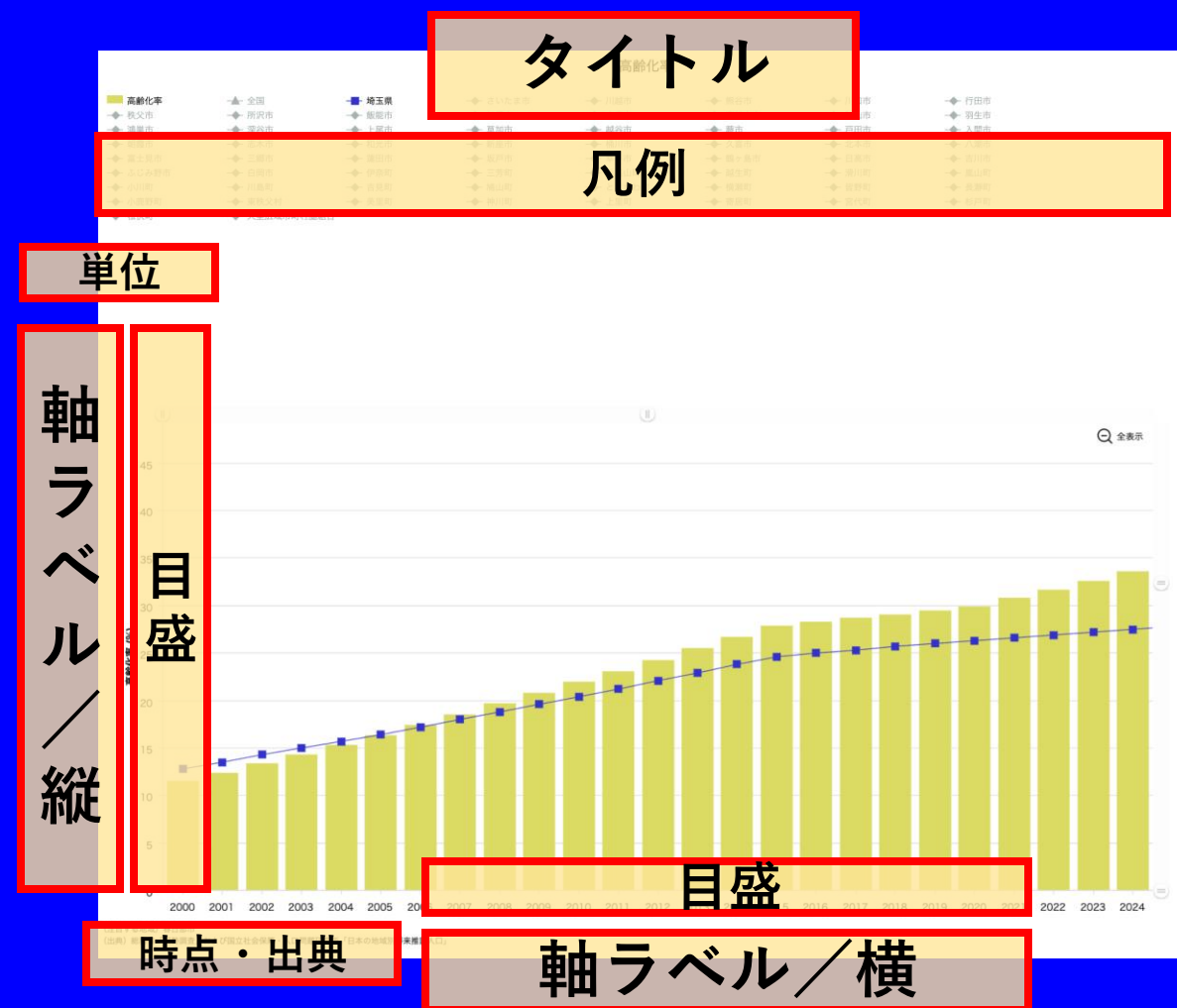
前回の振り返り

- 到達目標
 - 見える化システムを使う抵抗感がなくなること
 - 見える化システムの基本的な操作の習得
- 内容
 - 画面の構造を理解する
 - ✓ 操作の体験：現状分析
 - ✓ 操作の体験：取組事例

1つの指標：私の自治体を振り返る

1. そのグラフは何を表しているか？
 - グラフが発信する情報を受け取る
2. 指標はどちらに変化したか？
 - 指標の数値が増えると
 - ✓ 私の自治体は、「上向き」「上昇」
 - 指標の数値が減ると
 - ✓ 私の自治体は、「下向き」「下降」
3. グラフ（数値）の変化は、何を意味するか？
 - 例えば、「上向き」変化は、「望ましい」という判断でよい？

グラフを構成する8つの基本要素



「高齢化率」をグラフにする

1. 地域を選ぶ



2. 指標を選ぶ「大分類」→「人口」を選ぶ



3. 「高齢化率」を選ぶ



4. (自動で作図)



5. 「注目する地域と他を時系列で見る」を選択

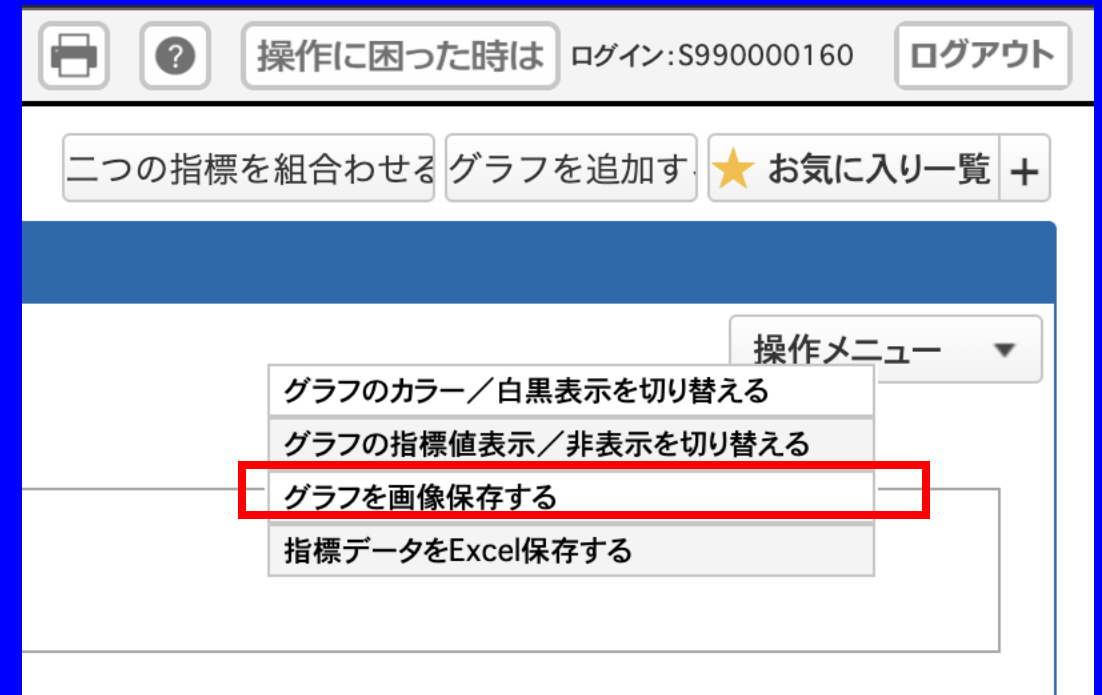
一緒に操作します。

見える化する指標は、

「高齢化率」

グラフを画像にしてダウンロードする

1. 操作メニューをクリック
2. グラフを画像保存する
3. 保存先のフォルダ名を確認する
4. (自動で保存)
5. ファイル名「graph (数字).jpg」を見つける



具体的な数値を確認する手順

指標を選ぶ

地域資源を見る

地域を選ぶ

指標検索画面を表示する

目的から指標を選ぶ

大分類

中分類

小分類

注目する地域及び管内日常生活圏域のみを表示

①その他の一般高齢者のみを表示

②要支援者を除く総合事業対象者のみを表示

③要支援1のみを表示

④要支援2のみを表示

①+②を表示

①+②+③+④を表示

グラフ

表

地図

E18-f.買い物ニーズありの高齢者の割合(その他の一般高齢者、要支援者を除く総合事業対象者、要支援1、要支援2を表示)(一人暮らし)(%)

E18-f.買い物ニーズありの高齢者の割合(その他の一般高齢者、要支援者を除く総合事業対象者、要支援1、要支援2を表示)(夫婦二人暮らし)(%)

E18-f.買い物ニーズありの高齢者の割合(その他の一般高齢者、要支援者を除く総合事業対象者、要支援1、要支援2を表示)(夫婦二人暮らし)(%)

E18-f.買い物ニーズありの高齢者の割合(その他の一般高齢者、要支援者を除く総合事業対象者、要支援1、要支援2を表示)(息子・娘との2世帯)(%)

E18-f.買い物ニーズありの高齢者の割合(その他の一般高齢者、要支援者を除く総合事業対象者、要支援1、要支援2を表示)(その他)(%)

E18-f.買い物ニーズありの高齢者の割合(その他の一般高齢者、要支援者を除く総合事業対象者、要支援1、要支援2を表示)(不明)(%)

E18-f.買い物ニーズありの高齢者の割合(その他の一般高齢者、要支援者を除く総合事業対象者、要支援1、要支援2を表示)(合計)(%)

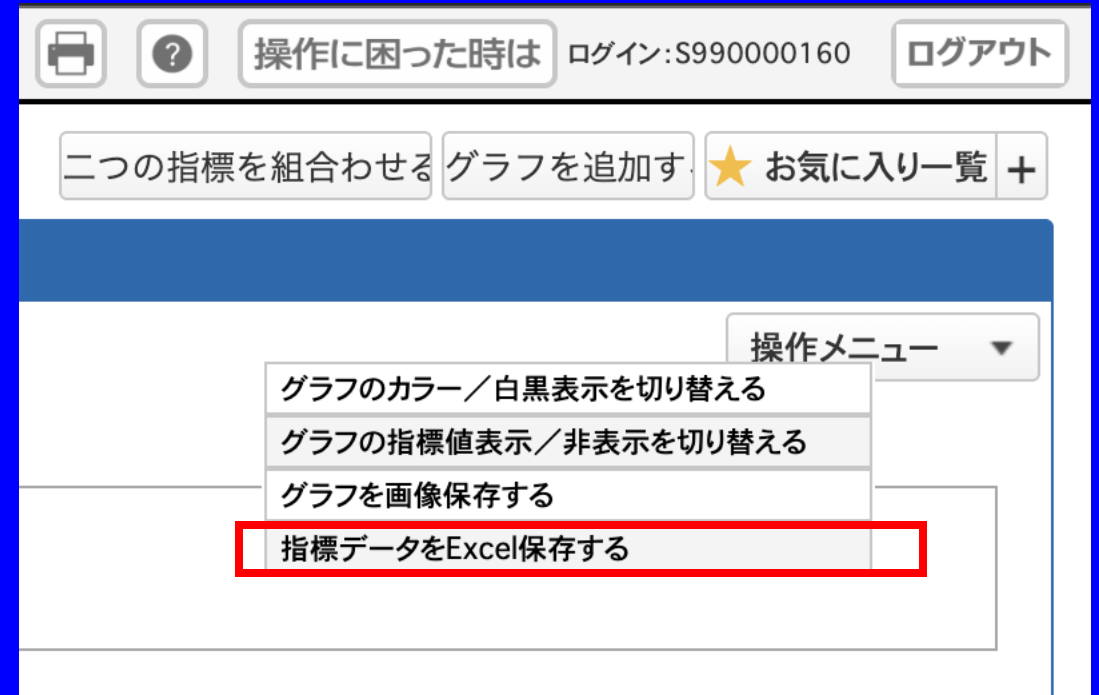
E18-f.買い物ニーズありの高齢者の割合(母集団推定高齢者、要支援1、要支援2を表示)(母集団推定高齢者、要支援1、要支援2を表示)(母集団推定高齢者、要支援1、要支援2を表示)(%)

	令和元年度	令和4年度
合事業対象者、要支援1、要支援2を表示)(一人暮らし)(%)	1.2	1.6
合事業対象者、要支援1、要支援2を表示)(夫婦二人暮らし)(%)	2.6	2.5
合事業対象者、要支援1、要支援2を表示)(夫婦二人暮らし)(%)	0.2	0.2
合事業対象者、要支援1、要支援2を表示)(息子・娘との2世帯)(%)	2.0	1.9
合事業対象者、要支援1、要支援2を表示)(その他)(%)	1.6	1.6
合事業対象者、要支援1、要支援2を表示)(不明)(%)	0.3	0.1
合事業対象者、要支援1、要支援2を表示)(合計)(%)	7.8	7.9
合事業対象者、要支援1、要支援2を表示)(母集団推定高齢者、要支援1、要支援2を表示)(母集団推定高齢者、要支援1、要支援2を表示)(%)	652	863

スクロールしてください。
(全文が見えない場合がほとんどなので、見つけにくいです。)

グラフをエクセルデータで入手したいとき

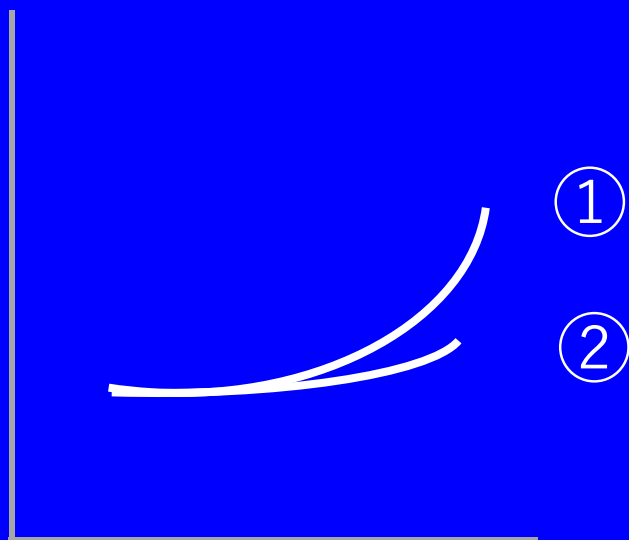
1. 操作メニューをクリック
2. グラフを画像保存する
3. 保存先のフォルダ名を確認する
4. (自動で保存)
5. ファイル名「A2_高齢化率_時系列.xlsx」を見つける



データセットのシートや出典データも用意されているので、自分で作図される方には便利な機能です。

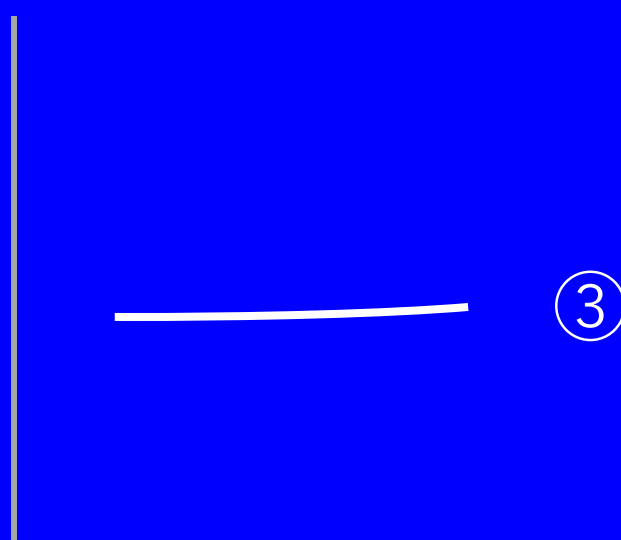
3つの局面と5つの動き

上昇局面



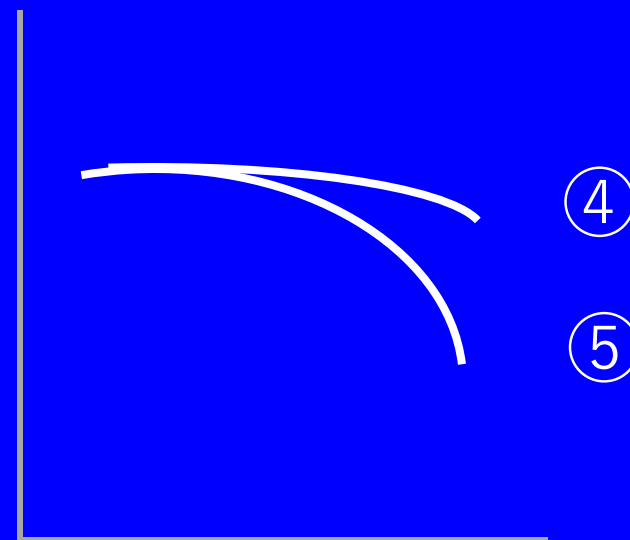
①急上昇
②緩やか上昇

安定局面



③安定

下降局面



④緩やか下降
⑤急下降

チャレンジ1

- あなたの自治体の介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を使ってみましょう。この調査にある「各種リスクを有する割合」等のうちから指標を一つ選び、グラフを画面に映し出してください。
 - 選ぶ指標のグループ
 - ✓ 「各種リスクを有する割合」「その他」「必須項目」「オプション」
 - 対象は、①+②+③+④
 - 「注目する地域と他を時系列で見る」のグラフ

シェア 1

1. あなたが選んだ指標をグループで紹介してください。
2. まず、「画面を共有」してください。
3. 次に、グラフを説明してください。
4. 説明時間は、1分以内にまとめることを意識してみましょう。
5. あえて「解釈や判断」を加えてみましょう。 ←正確かどうかは気にしないで。
 - ✓ 例) この結果より、
 - XXX予防事業をさらに充実させるべきか検討の余地があります。
 - XXX予防事業の方法を変え効率化を目指すべきか検討の余地があります。

シェア 1 (グラフの伝え方例)

1. この図は、私の自治体の「〇〇〇」です。
2. 横軸は年度です。縦軸は「〇〇〇」の変化を表します。
3. この数値は、「△△△△△△」を意味します。
4. この数値が大きいほど「△×△×△×△×」と考えられます。
5. そして、このグラフによれば、「〇〇〇」の過去の▼▼年度の値と比べ、直近の■ ■年度の値の方が高く（低く）なっています。
6. この結果より「XXX予防事業をより充実させるべきか」を検討する余地がある、と考えています。

ところで、指標の意味がわからなくなったときどうする？ (1/3)



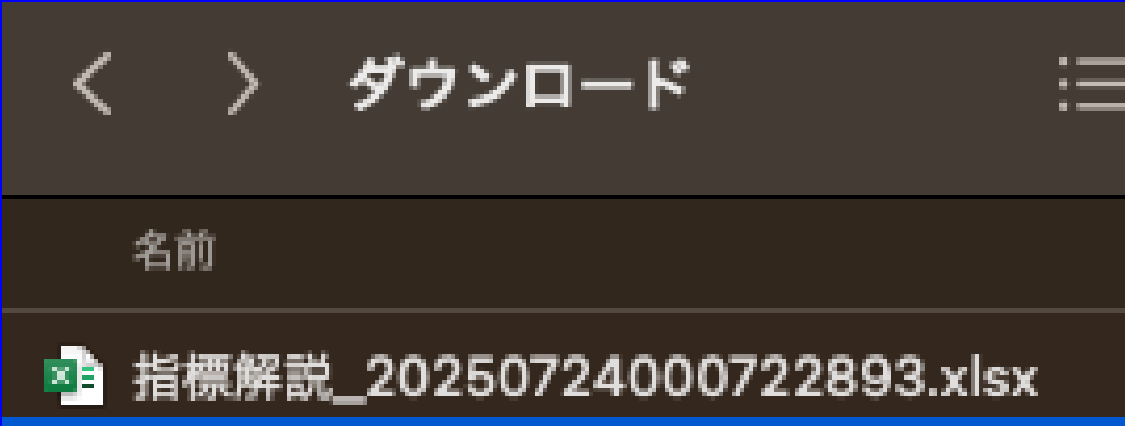
(拡大)

指標の説明を一括でダウンロードする

複数指標を選択してExcel出力する

ところで、指標の意味がわからなくなったときどうする？（2/3）

ダウンロード先を確認



1	大分類	中分類	小分類	指標	指標名	指標の内容・指標を見るポイント	指標に関する用語の説明
428	介護予防・日常生活圏ニーズ調査	各種リスクを有する割合	運動器機能リスク高齢者の割合	E1	運動器機能リスク高齢者の割合 (注目する地域及び管内日常生活圏のみを表示)	・本指標は、各市町村から送付された第6期日常生活圏ニーズ調査および介護予防・日常生活圏ニーズ調査結果による、運動器機能リスク高齢者の割合を示すものです。 ・運動器の機能が低下している高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。 ・介護予防・日常生活圏ニーズ調査では、市区町村が独自に調査対象母集団を設定することが可能となっています。そのため、調査対象母集団が一致しない市区町村間でも比較が可能となるよう、図表1の通り特定の母集団のみを対象とした指標も掲載しています。 ・なお、注目している地域が設定している調査対象母集団は、「注目する地域及び管内日常生活圏のみを表示」を選択した際に、画面下部に表示されます。この情報も参考にして、上記の表より表示する指標を選択してください。	・運動器機能リスク高齢者の割合は、当該地域内の「運動器機能リスク高齢者」（推計値）を、当該地域内の「要支援2以下の高齢者数」で除したものを意味します。 ・「要支援2以下の高齢者数」は調査データ登録時に入力した調査設計情報から取得します。 ・「運動器機能リスク高齢者」は、各調査において、下記の判定方法に調査結果が該当した高齢者です（図表2参照）。
429							※介護予防・日常生活圏ニーズ調査は、各地域における健康寿命の延伸に向けた効果的な介護予防・日常生活支援総合事業の取り組みの実施に向け、またその取り組みを含む介護保険事業計画の策定・実施等に向けて活用していただくため、各市町村に実施を推奨している調査です。詳しくは「介護保険事業計画作成に向けた各種調査等に関する説明会」の資料を参照ください。

ところで、指標の意味がわからなくなったときどうする？ (3/3)

指標の内容・指標を見るポイント	指標に関する用語の説明
・本指標は、各市町村から送付された第6期日常生活圏域ニーズ調査および介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果による、運動器機能リスク高齢者の割合を示すものです。 ・運動器の機能が低下している高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用することが可能になります。 ・介護予防・日常生活圏域ニーズ調査では、市区町村が独自に調査対象母集団を設定することが可能となっています。そのため、調査対象母集団が一致しない市区町村間でも比較が可能となるよう、図表1の通り特定の母集団のみを対象とした指標も掲載しています。 ・なお、注目している地域が設定している調査対象母集団は、「注目する地域及び管内日常生活圏域のみを表示」を選択した際に、画面下部に表示されます。この情報も参考にして、上記の表より表示する指標を選択してください。	・運動器機能リスク高齢者の割合は、当該地域内の「運動器機能リスク高齢者」（推計値）を、当該地域内の「要支援2以下の高齢者数」で除したものを意味します。 ・「要支援2以下の高齢者数」は調査データ登録時に入力した調査設計情報から取得します。 ・「運動器機能リスク高齢者」は、各調査において、下記の判定方法に調査結果が該当した高齢者です（図表2参照）。 ※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査は、各地域における健康寿命の延伸に向けた効果的な介護予防・日常生活支援総合事業の取り組みの実施に向け、またその取り組みを含む介護保険事業計画の策定・実施等に向けて活用していただくため、各市町村に実施を推奨している調査です。詳しくは「介護保険事業計画作成に向けた各種調査等に関する説明会」の資料を参照ください。

1つの指標：私の自治体の位置を知る

1. そのグラフは何を表しているか？
 - グラフが発信する情報を受け取る
2. ある地域（群）と比べ、私の自治体はどこに位置づくか？
 - 指標の「数値の差」「距離」が大きいと
 - ✓ 私の自治体は、ある意味、その地域と似ていない
 - 指標の「数値の差」「距離」が小さいと
 - ✓ 私の自治体は、ある意味、その地域と近い
3. グラフ（数値）の変化は、何を意味するか？
 - 例えば、「距離が大きい」状況は、「望ましくない」という判断でよい？

「高齢化率」をグラフにする (全国や都県との比較)

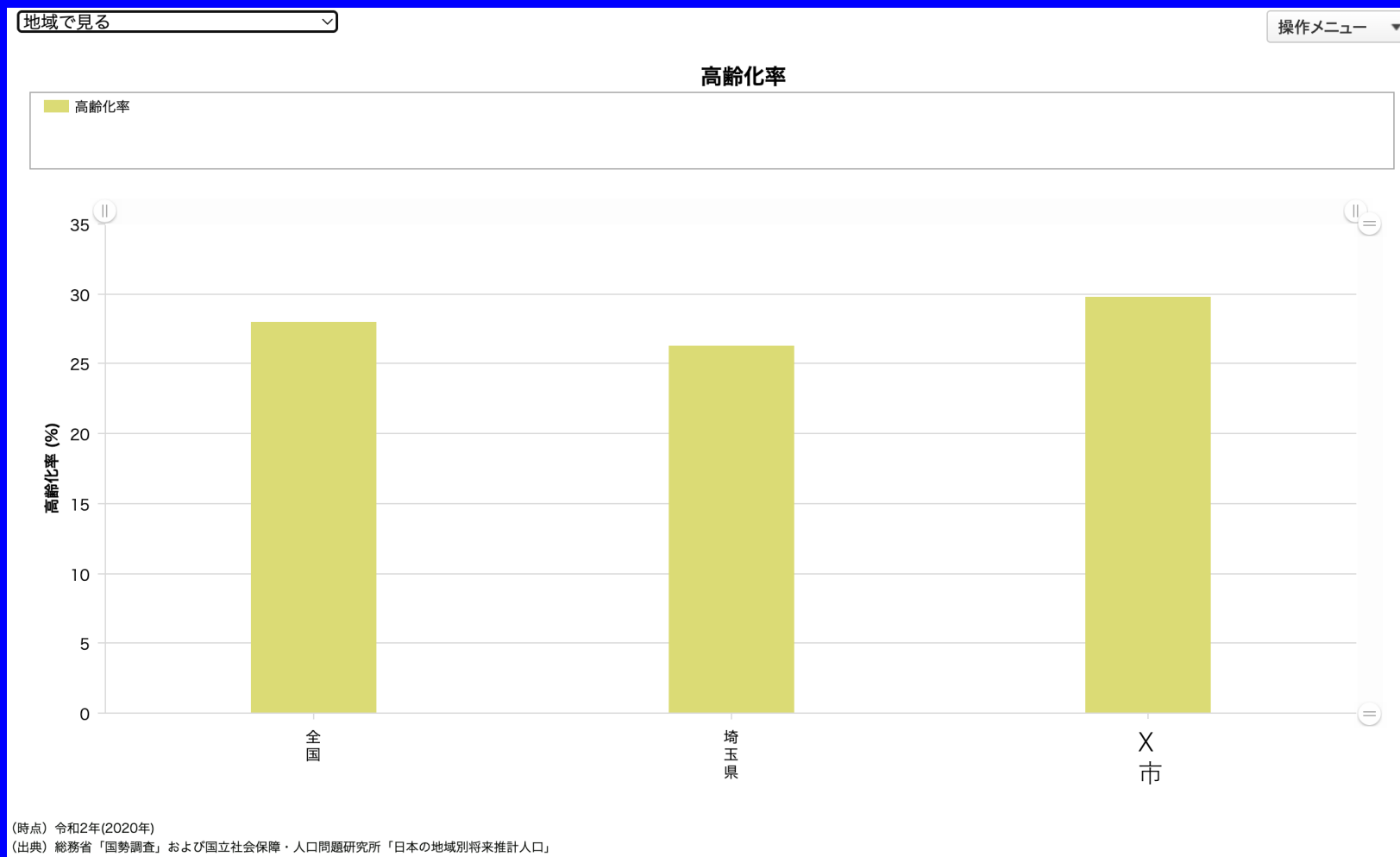
1. 地域を選ぶ
▼
2. 指標を選ぶ「大分類」→「人口」を選ぶ
▼
3. 「高齢化率」を選ぶ
▼
4. (自動で作図)
▼
5. 「地域で見る」を選択

一緒に操作します。

見える化する指標は、

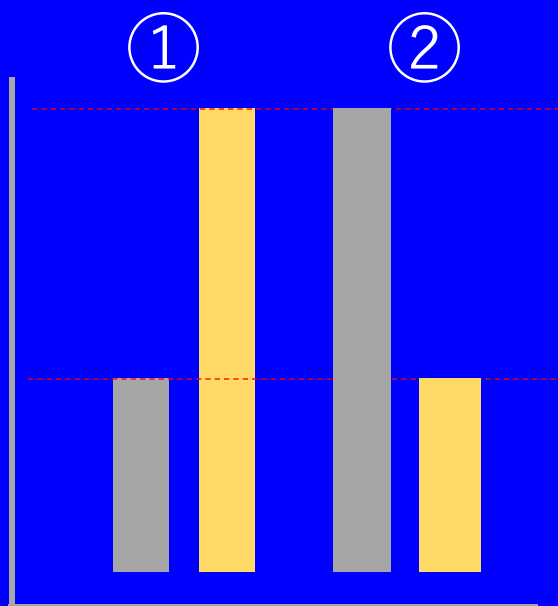
「高齢化率」

「高齢化率」をグラフにする (全国や都県との比較)



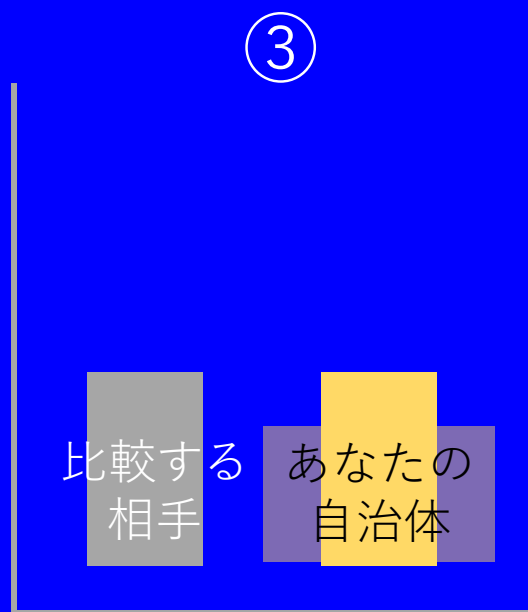
3つの「差」と3つの位置

大きな差



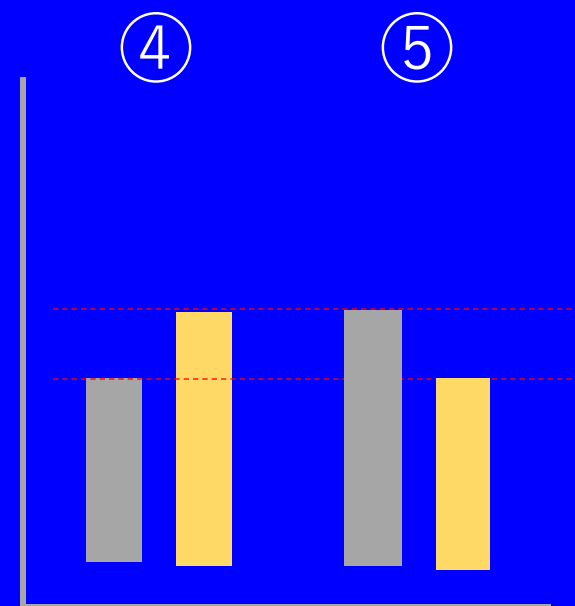
①高い位置
②低い位置

ほぼ同じ



比較する相手と比べ
③同水準

小さな差



④高い位置
⑤低い位置

チャレンジ2

- あなたの自治体の介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を使ってみましょう。この調査にある「各種リスクを有する割合」等のうちから指標を一つ選び、グラフを画面に映し出してください。
 - 選ぶ指標のグループ
 - ✓ 「各種リスクを有する割合」 「その他」 「必須項目」 「オプション」
 - 対象は、①+②+③+④
 - 「地域で見る」のグラフ

シェア 2

1. あなたが選んだ指標をグループで紹介してください。
2. まず、「画面を共有」してください。
3. 次に、グラフを説明してください。
4. 説明時間は、1分以内にまとめることを意識してみましょう。
5. あえて「解釈や判断」を加えてみましょう。 ←正確かどうかは気にしないで。
 - ✓ 例) この結果より、
 - XXX予防事業をさらに充実させるべきか検討の余地があります。
 - XXX予防事業の方法を変え効率化を目指すべきか検討の余地があります。

シェア 2 (グラフの伝え方例)

1. この図は、私の自治体の「〇〇〇」です。
2. 横軸は比較する地域です。縦軸は「〇〇〇」の変化を表します。
3. この数値は、「△△△△△△」を意味します。
4. この数値が大きいほど「△×△×△×△×」と考えられます。
5. そして、このグラフによれば、全国や県、他の自治体と比較して、私の自治体は高い位置（低い位置）にあります。
6. この結果より「XXX予防事業をより充実させるべきか」を検討する余地がある、と考えています。

まとめ

◆本日の到達目標

- 見える化システムを使ったグラフの描画の習得する。
- 1つの指標を使ったグラフが示す意味を読み解けるようになる。

◆学習した図の読み解き

- 私の自治体の時系列の変化
- 他の地域との比較

◆次回Step 3の到達目標

- 2つの指標を組み合わせたグラフが示す意味を読み解けるようになる。

次のようなご相談は、ご遠慮なく連絡ください。

- ◆ 本研修後（4回分）のフォローアップ
- ◆ 介護保険事業（支援）計画などに関する委員会の委員、アドバイザー等
- ◆ 見える化システムの活用に関する関係者向けの研修
- ◆ ニーズ調査等の調達仕様書の設計に関すること
- ◆ その他、自己紹介のページ内容を含め、幅広く、地域包括ケアに関すること

埼玉県立大学 吉田俊之
yoshida-toshiyuki@spu.ac.jp